

み	みのりある学び		
	総合評価	3	関係者評価
	3	3	3
	3	3	3
設定項目			
到達目標		達成状況・考察	
1	自らで学習方法を選択し、学習を進めたり深めたりすることができる生徒	●学期末アンケート「学習する内容や目的に応じて、自分に合った学習方法を見つけることができましたか」「意欲的に授業に取り組むことができましたか」の肯定的回答が2回目以降は、1回目の回答を上回る。（毎学期末実施） ●全教科、全学年、標準学力調査の結果が全国比より同程度または上回る。（12月実施予定）	●学期末アンケート（7月→12月）「学習する内容や目的に応じて、自分に合った学習方法を見つけることができましたか」の肯定的回答が68%→72%と推移した。また「意欲的に授業に取り組むことができましたか」の肯定的回答が87%→85%と推移した。教師が、授業内に学習方法や取り組み方に関する具体的なアドバイスを生徒へ伝えたり、廊下掲示したりした結果と考える。 ●標準学力調査「全国比」1年生は社会・英語が同程度、他教科は下回る。2年生は国語が同程度、他教科は下回る。「目標値（到達すべき基準）」1年生は基礎が下回り、活用が上回る。2年生は基礎が下回り、活用が同程度である。教師が、授業中、生徒個人の考えを持たせたり、深めさせたりする時間を確保した結果と考える。しかし、教師が単元を通して習得・活用・探究のバランスの工夫が十分でなかったため生徒に基礎基本の確実な定着を図ることができなかったことが課題として挙げられる。
2	色々な人との意見交換を通して、課題を解決したり、考えを深めたりすることができる生徒	●学期末アンケート「話し合い活動では、新たな気づきや考えを得ることができましたか」「他者の考えを自分の考えに活かせましたか」の肯定的回答が2回目以降は、1回目の回答を上回る。（毎学期末実施）	●学期末アンケート（7月→12月）「話し合い活動では、新たな気づきや考えを得ることができましたか」の肯定的回答が85%→87%と推移した。また「他者の考えを自分の考えに活かせましたか」の肯定的回答が86%→90%と推移した。授業中、生徒の教え合いや話し合いが活発になるよう、教師が課題の設定を工夫した結果と考える。しかし、一部の生徒の意見で話し合い活動が進んでしまう課題も挙げられる。
3	家庭学習に主体的に取り組むことができる生徒	●学期末アンケート「宿題以外の家庭学習に取り組むことができましたか」の肯定的回答が2回目以降は、1回目の回答を上回る。（毎学期末実施）	●学期末アンケート（7月→12月）「宿題以外の家庭学習に取り組むことができましたか」の肯定的回答56%→64%と推移した。教師が生徒に興味関心をもつ課題（例えば現代社会の情報や現象、出来事など）の提示を工夫した結果と考える。また、見本となる生徒の家庭学習へ取り組んだ内容やノートの成果物を廊下掲示したことで、他の生徒が学習に対する工夫の仕方を学び、それが家庭学習の意欲喚起につながったと考える。

来年度の取り組み
●特に学習意欲の高い年度初めに、授業の学び方や評価の仕方、課題の進め方や効果的な学習方法の紹介など、各教科で具体的な取り組みをさらに進める。 ●授業中、教師が生徒の意見交換や対話活動が活発になるような取り組みを工夫する。 ●教師が単元を通して習得・活用・探究のバランスを工夫する。 ●家庭学習ですらドリル（AI型のICT教材）を活用する。
学校関係者評価のコメントから
●学校は、家庭学習に主体的に取り組む生徒の育成に向け、生徒がタブレット端末を家庭に持ち帰り、生徒自身の興味関心に応じた学習内容などに取り組める活用を継続させてほしい。 ●学校は、特に肯定的回答の割合が低いアンケート項目については、数値の上昇だけを評価の達成基準にするのではなく、分析なども十分に行い、来年度以降も継続し取り組んでほしい。 ●教職員が学校評価について話し合うことで、現状の課題が明らかになり、次年度の学校の取り組みへつながることが大切である。

さわやかな仲間	総合評価	3	関係者評価
	3	3	3
	3	3	3
	3	3	3
設定項目			
到達目標		取組結果・考察	
1	自分の思いや考えを相手に伝えることができる生徒	●教育相談アンケート「学校が楽しい」「困ったことや不安なことは相談する」の肯定的回答が2回目以降は、1回目の回答を上回る。「1」の回答を減らす。（毎学期実施） ●i-check「発信力」に関する肯定的回答の割合が2回目以降は、1回目の回答を同程度で推移または上回る。（6月・11月実施予定）	●教育相談アンケート（5月→10月）「学校が楽しい」の肯定的回答（1の回答数）が1年80%→79%（2→3）2年81%→91%（2→0）3年92%→93%（1→1）と推移した。また「困ったことや不安なことは相談する」の肯定的回答（1の回答数）が1年68%→76%（4→4）2年60%→74%（6→3）3年75%→73%（6→4）と推移した。特に2年の肯定的回答の割合が増えた。授業中、教師が生徒どうして考えを知り合う学習活動を充実させたこと、日々よりよい人間関係づくりについて担任が語るなどし日常的な活動を充実させたことが結果につながったと考える。 ●i-check（6月→12月）「発信力」の肯定的回答が1年51.7%→50.5% 2年60.7%→60.0% 3年59.3%→66.6%と同程度または上回り推移した。さわやかスピーチなどの取り組みや教師が授業中、生徒の発言をする機会を意識的に確保したこと、3年は未来を語る会などの校外外で発言する機会を経験した結果と考える。
2	自分たちの生活をよりよくすることができる生徒	●i-check「学校の行事や活動の中で、あなたの心に残っていることがありますか」「学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか」に対する肯定的回答が85%を上回る。（11月実施予定）	●i-check（6月→12月）「学校の行事や活動の中で、あなたの心に残っていることがありますか」の肯定的回答が1年89.4%→87.2% 2年93.8%→93.3% 3年98.3%→98.2%と同程度で推移した。 i-check（6月→12月）「学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか」の肯定的回答が1年57.4%→53.2% 2年70.8%→73.3% 3年69.0%→75.0%と推移し、各学年目標値85%には届かなかった。2・3年は全国平均値55%を大きく上回った。生徒会執行部の目標をもとに、委員会活動、学級での活動を自治的に生徒が進められるよう教師が丁寧な支援をした結果と考える。
3	自分や仲間の人権をだいじにすることができる生徒	●i-check「思いやり（人間関係構築力）」「自己肯定感」に関する肯定的回答の割合が2回目以降は、1回目の回答を同程度で推移または上回る。（6月・11月実施予定）	●i-check（6月→12月）「思いやり（人間関係構築力）」の肯定的回答が1年84.3%→85.1% 2年88.8%→85.8% 3年89.3%→91.1%と同程度で推移した。 i-check（6月→12月）「成功体験と自信」の肯定的回答が1年73.9%→75.6% 2年86.5%→85.0% 3年83.2%→89.5%と同程度で推移した。教師が、班活動や授業時間の関わり、行事などを通して、生徒どうしがお互いのよいところへ気づく取り組みを継続した結果と考える。

来年度の取り組み
●教師が、授業中などでペアや小集団での話し合いを広げ、学級や学年全体の場で、自分の意見を発表したり、質問したりすることができる生徒を増やす。 ●日々の授業などで、教師が生徒を言葉にして褒める機会を増やす。教師が称賛する視点を明確にすることで、生徒同士で褒め合う活動へつなげ、生徒自身の自己有用感を育む。
学校関係者評価のコメントから
●学校は、教育相談活動の丁寧な取組など、生徒が自分の思いや困り感などを相手に伝える機会の充実を継続させてほしい。 ●学年によっては評価4（十分優れている）に近い状況である。学校は、学年ごとの課題を分析し対策を講じてほしい。

最適な環境	総合評価	3	関係者評価
	3	3	3
	3	3	3
	3	3	3
設定項目			
到達目標		取組結果・考察	
1	よりよい生活環境を整え、環境に配慮した行動ができる生徒	●ゴミやホコリなどが落ちていない校内にする。 ●10分間掃除に取り組み、自ら掃除すべき場所を見つけられる生徒にする。 ●15:35の掃除開始時間が守れるようにする。 ●教室環境を整える。（ロッカー、掲示物等、整理整頓ができるようにする。）	●コロナ前の美化活動にもどったこともあり、校内にゴミやほこりなどが落ちていることは少なかった。 ●週一回、昼の校内放送で保健環境委員が美化活動のMVPを発表した。その取組が生徒の美化活動への意欲につながった。また、定期的に生活安全委員、保健環境委員がロッカー、机の中の整理整頓の状況を調べた。その取組が、生徒の整理整頓への意識づけにつながった。
2	望ましい栄養や食事のとり方を理解し、健康な生活を自ら管理できる生徒	●食に関するアンケート「朝食を毎日食べる生徒」「バランスのよい朝食がとれている生徒」の割合を1回目より増加させる。（12月実施予定） ●家庭での食育や調理を啓発する取組をPTA育成部と協力し実施する。 ●地元農家や保・こ・小、役場各課など地域と連携した食育活動を増やす。	●食に関するアンケート（5月→12月）「朝食を毎日食べる生徒」83.3%→88.5%、「バランスのよい朝食がとれている生徒」36.8%→45.8%と推移した。まったく朝食をとらないと回答した生徒には、養護教諭と栄養教諭が個別に指導した。 ●冬休み、PTA育成部が「おうちでクッキング」を実施し、家庭での調理を呼びかけた。23名の家庭が実際に取組み、レポートを提出した。 ●保・こ・小と連携した郷土料理給食、交流のあるフランスや台湾の料理、地元産食材の使用など、給食を活用し地域の食や世界の食を学ぶ取組を行った。町制70周年のお祝い給食週間を実施し、給食委員会による動画を校内だけでなく、校外でも放映し、地域と連携した食育活動をおこなった。
3	生活リズムを基本とし、心身ともに健康な生活をおくることができる生徒	●メディアルールアンケート「寝る30分前にはメディアから離れる」が守れる生徒を80%以上にする。（月1回実施予定）	●月1回、保健環境委員会が、メディアルールDAYを実施した。そして、メディアとの付き合い方や規則正しい生活について呼びかけを行った。また、保護者への啓発は「ほけんだより」で毎月行った。 ●メディアルール達成率の年間平均は71%だった。毎月のアンケート結果を分析し、改善の見られない生徒には、養護教諭が個別に指導した。

来年度の取り組み
●生徒が、そうじ場所をきれいにするまで美化活動に取り組むよう、保健環境委員が放送や表彰を行い、生徒の美化活動に対する意識をさらに高める。 ●食、生活習慣やメディアとの関わり方が気になる生徒に対し、栄養教諭、学級担任、養護教諭、または外部機関が連携し個別指導を継続する。
学校関係者評価のコメントから
●学校は生徒に、生徒自らが、だれにとっても最適な環境を整える主体者であるという意識を育ててほしい。 ●家庭などと連携し、引き続き生徒の基本的生活習慣の確立に努めてほしい。

評価基準	
4	十分優れている。
3	おおむね良い。
2	いくらか課題がある。
1	課題が多く早急な改善を要す。



令和5年度三朝町立三朝中学校

よりよい三朝中をめざして

〒682-0152 鳥取県東伯郡三朝町本泉430
TEL(0858)43-1397 FAX(0858)43-1396
misasa-j@g.torikyo.ed.jp
<https://misasa-j.edumap.jp/>



R5年11月9日 台湾 石岡国民中学交流団 来校

教育目標

高い志と豊かな感性を持ち、今をたくましく生きる生徒の育成
～学校教育は未来への投資～
～「みのりある学び」と「さわやかな仲間」は「さい(最)適な環境」から～

めざす生徒像＝生徒の生活信条

仲間をだいじにする生徒
よく気がつく生徒
よく働く生徒
よく燃えあがる生徒
よく耐えぬく生徒

研究組織	みのりある学び	さわやかな仲間	最適な環境
	学習指導 図書館教育 情報教育 キャリア教育 国際理解教育 特別支援教育	生徒指導 人権教育 特別な教科道德 福祉教育 特別活動	健康教育 保健指導 食育・給食 教育相談 安全教育 環境美化
	地域連携	PTA活動	働き方改革の推進

学校評価とは…

教職員の「自己評価」、保護者・地域住民などの「学校関係者評価」を学校改善に役立てます。

学校は、教育活動及び学校運営について、中長期及び単年度の目標とそれらを達成するための具体策を設定し、その達成状況の評価すること、教育活動の改善と学校教育の質の向上を図ります。そして、学校評価の結果を保護者や地域住民等に説明、公表することにより、学校・家庭・地域が一体となった「いい学校」「元気な学校」づくりを推進します。

本校では、学校目標を達成するための具体策として、「みのりある学びづくり」「さわやかな仲間づくり」「最適な環境づくり」を計画し、3つの視点で教職員の自己評価、学校運営協議会員による学校関係者評価を行いました。保護者・生徒へのアンケートはもちろん、学力、学習習慣、食生活にかかわる調査の結果や、授業をはじめとする生徒の生活全般の様子を多方面から見て評価し、改善のポイントを発見していきます。

評価基準

それぞれの項目について、本校職員による「自己」評価と、学校「関係者」評価を数値で表しています。数字は下のような段階となります。

4	十分優れている。
3	おおむね良い。
2	いくらか課題がある。
1	課題が多く早急な改善を要す。

国際交流 訪仏



みのりある学び



修学旅行(東京国立競技場)

職場体験 トライ・ワーク



人権参観日 いじめ撲滅宣言作成



校内文化祭



秋季大運動会



応援団披露



保健環境委員会の 活動(メディアールール)



バイキング給食



防災出前講座

- 三朝中学校メディアールール
- 保健 ①23時までに寝る
②寝る30分前にはメディアから離れる
 - 学習 ③課題や勉強を優先する
 - 人権 ④家族との時間を大切にする
⑤人を傷つけるようなことはしない

最適な環境



PTA育成部 (おうちでクッキングレシピ集)